

要望書の活動内容とは？？？ ～その活動の全容をいざ解き明かさん！！～

そもそもなぜ「要望書」を活動として行う必要があるのか？

学生のみなさんがより充実した学生生活を送るには、日頃から抱く切実な要望を実現させることが必要だと学生自治会は考えます。しかし、どれほど**希望（きぼう）**する要望であっても**個人で訴えかける形**では大学にその実情が伝わりにくく、結果としてみなさんの**要望の実現が難しく文字通り希望（まれなのぞみ）**のままということが想定されます。そこで学生自治会は、一人一人の意見を収集し、その要望をもとにみなさんを代表して**要望を大学に訴えかけていく**ことで**要望の実現を目指して**いきます。そのために**要望書に関する活動**を行っていく必要があります。

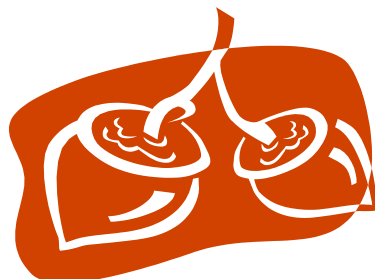
では具体的にどのような活動をするのか？

(1) 要望アンケートを実施します。

前述した通り学生自治会は、みなさんを代表して要望を大学に訴えかけていくことで**要望の実現を目指して**いきます。そのためには**みなさんがどのような要望を抱いているのか把握**する必要があります。そこで、中百舌鳥キャンパス・りんくうキャンパスの全学部生および全学域生を対象に**要望アンケート**を実施します。

(2) 要望書を作成します。

学生自治会は、みなさんの要望を大学に訴えかけるため、アンケートに寄せられた**みなさんの要望や意見をもとにして要望書案**を作成します。また、要望書案を作成する際には、要望内容を補足し、分かりやすくするため**要望に関する調査結果や参考資料**などを掲載した**要望書資料**を作成します。なお、要望書案については、その内容が本当にみなさんの実情に即して、みなさんのためになっているかを判断してもらうため、**2012年度後期自治委員会総会にて提議**します。



大学運営に関する活動

みなさんもお存じの通り、今年から本学では学域・学類制がスタートしました。

新しくなった大阪府立大学の中で学生に不利益が生じてしまうことがないように、学生自治会は必要に応じて大学執行部をはじめとした関係各所と協議し、問題があればその改善を求めるとしてまいります。

◎ 学域・学類制の導入に関して、引き続き学生に不都合がないか確認してまいります。

学域・学類制への移行に伴い、カリキュラムを中心としたさまざまな問題が発生しています。また今後、学域・学類制の学生の進級に伴い、新たな問題が発生する可能性があると考えられます。そこで学生自治会は、引き続き学域・学類制に伴う不具合が生じていないか確認し、大学に対して適宜情報公開や改善を求めています。

◎ 第2期中期目標・第2期中期計画・平成24年度計画に対する活動を行ってまいります。

第2期中期計画をはじめとした大学の運営計画には、教員の削減や大学独自の奨学金の創設など、学生に対して影響の大きい項目が多く存在します。そこで学生自治会は、教員の削減については、教員への負担が増えることによる教育の質の低下の恐れや、教員の削減により専門科目が減少している学科が存在するなどの影響に対して、大学に改善や対処を求めるといった活動を行ってまいります。さらに、大学独自の奨学金の創設については、竹内正吉学生センター長をはじめとした関係各所と話し合いを行い、本当にその奨学金を必要としている学生の助けになるよう、調整を行ってまいります。

◎ 「大阪府市統合」の動きに関して注視し、大学へ学生の意見を届けてまいります。

現在、大阪維新の会がマニフェストとして掲げている「府大と市大の一元化」の議論が進められています。昨年12月27日には大阪府市統合本部が、6月8日には府大と市大の統合に関する有識者会議が設置され、現在さまざまな議論が進められています。府市統合本部会議では両大学の合併も視野に入れた検討・協議を行っていますが、議論を十分に行わないまま行政や大学執行部の独断のみで議論が進められ、学問および教育・研究の最高機関としての「大学」が軽視されることや、学生にとって不利益が生じるようなことがあってはなりません。そこで学生自治会は、「大阪府市統合」の動きに関して注視し、大学へ学生の意見を届けてまいります。

りんくうキャンパスについての活動

2008年度後期自治委員会総会にて、「りんくうキャンパスにも学生自治組織が必要だ」という学生の声があったことから、学生自治会はりんくうキャンパスでの活動を暫定的に行っていました。

今年度より、正式にりんくうキャンパスを活動対象に含めることになりました。そこで、学生自治会では、一層りんくうキャンパスに根ざした活動を行うために、りんくうキャンパスで活動を行っていく「りんくうキャンパス局」を設置しました。

これまでの活動

また、りんくうキャンパスの学生が友好祭や白鷺祭といった行事に参加しやすくすることを目的に、「総合学生室」の設置を検討してきました。しかし、りんくうキャンパスにおいて、一定の時間に固定の場所を取得すること、および人員の確保が困難であったため、「総合学生室」の設置はできませんでした。

学生自治会ではりんくうキャンパスの状況や学生の現状を知るために意見箱を設置し、大学などへの意見を収集してきました。また、より多くのりんくうキャンパスの学生が大学に関して情報を取得できるよう自治会総合情報誌『NASCA』やポスターを通じて情報宣伝を行ってきました。

要望書公開の際、中百舌鳥キャンパスに来ることのできないりんくうキャンパスの学生も、中継などの形で参加できるよう、大学に要請しました。しかし、同日にりんくうキャンパスにおいて卒業研究の中間発表会が行われることから、要望書公開回答に参加できるりんくうキャンパスの学生はほぼ皆無であると考えられたため、今年の中継を行わないという形になりました。



今後の方針

これから学生自治会はりんくうキャンパス局を中心に情報収集を行い、りんくうキャンパス独自の環境の把握に努めます。そして、りんくうキャンパスの学生にとって必要な活動を模索し、適宜行っていきます。また、りんくうキャンパスの学生に対して、大学に関する情報の宣伝を行います。

学生自治会はりんくうキャンパスに根ざした活動を努めていきます。

情報収集・情報宣伝

自治会活動を行う上で学生自治会では、よりよい学生生活を実現するためには学生などからの情報・意見を把握し、取り入れることが大切であると考えています。また、その情報・意見を基に情報を発信することも大切です。そのためには、大学や自治会活動について知ることが容易で、意見の発しやすい環境づくりが必要です。そこで、学生自治会では以下のような情報収集・情報宣伝を行っています。

情報収集

学生自治会では、意見箱やウェブサイトの掲示板、メール、アンケートといった情報収集手段を活用し、学生から意見を収集しています。寄せられた意見は検討し、学生生活や自治会活動に反映、必要に応じて大学をはじめとした関係各所に伝えています。

また、大学の動きや社会情勢を把握するために学生センターや大阪府立大学教職員組合との話し合いなどを行い、情報を収集しています。



情報宣伝

学生自治会では、自治会総合情報誌『NASCA』や立て看板、ビラ、ポスター、学生自治会ウェブサイトなどの情報宣伝手段を活用し、学生生活に関わる様々な情報を発信しています。

また、学生自治会ウェブサイトでは配布された『NASCA』や要望書公開回答の情報など掲載しています。



学生自治会では現状の情報収集・情報宣伝方法の改善や新たな収集・宣伝方法を検討しています。そして、より多くの学生が興味・関心を持てるような情報宣伝や、より多くの学生から意見を取り入れることができる情報収集を心がけ、これからも学生自治会は活動していきます。



立て看板管理局

概要

立て看板は情報宣伝手段として有効な手段です。しかし、立て看板やステージバックは、扱いを誤った時や強風時には大きな危険を伴うので、運用には十分に注意しなければなりません。

そこで、学生自治会は立て看板の安全管理・運用を行うために立て看板管理局を設置しています。


立て看板を安全に管理するために

- 1、強風時には立て看板が倒れて怪我人が出る危険があるため、事前に立て看板を倒します。
- 2、立て看板の状態がよいかどうか定期的に点検を行い、必要があれば補修も行います。
- 3、利用団体には正しく取り扱ってもらえるように注意を促し、さらに講習会を開くなど、安全に立て看板を取り扱える体制を整えていきます。

白鷺祭開催期間中について

白鷺祭ではイベントなどの宣伝のために立て看板が多く立ち、また立て看板の扱いについてよく知らない一般の方も多く参加します。そのため白鷺祭開催中は立て看板による事故が起きる可能性が大きくなります。

管理局では事故を未然に防ぐために、白鷺祭開催中に継続的に立て看板の見回りを行います。その他にフリーマーケット出店者をはじめ、立て看板のそばにいる人に対して注意を呼びかけるビラを配るなどの対策も行います。



学生団体連絡会議

学生団体連絡会議とは

学生団体間の情報交換や、様々な調整及び、単独の学生団体だけでは解決するのが難しい問題に対処するため、行っている会議のことです。

これから

引き続き月に一度、学生団体連絡会議を開きます。その場において第39回七夕祭実行委員会に協力することとし、活動場所として学生自治会室を提供する、実行委員として自治会役員が参加するなどしました。これら以外に学生団体連絡会議の構成団体として大学の情報・実情を把握するため、また意見交換を行うことで大学と学生の相互理解を深めるために、月に一度、学生センターとの話し合いを引き続き行っていきます。また学生センターとの話し合いで有益な情報が得られた場合、自治会総合情報誌『NASCA』やウェブサイトなどを通して学生に発信していきます。

大型PA再購入実行委員会

大型PA再購入実行委員会とは

大型音響機器（以下、大型PA）の再購入を円滑に行い、クラブやサークルなどの課外活動を充実させ、大学内の文化的発展を目的に活動している団体です。

これから

学生自治会は、大型PA再購入実行委員会の構成団体として、大型PA再購入実行委員会の活動を行っています。大型PA再購入実行委員会は定例会を開き、大型PAの現状確認や構成団体間の情報共有、次回の第4期再購入が円滑に行われるよう調整を行っています。また、大型PA再購入実行委員会規約の見直しおよび改正を行いました。その他にも修理が必要になった場合は大型PA積立金などを用いて対処していきます。

ステージ管理委員会

ステージ管理委員会とは

学生が所有するステージの管理・運用、およびステージの再購入に関する活動を行い、それを通じて大学内の文化的発展を図ることを目的に活動している団体です。ステージ管理委員会内には日頃のステージの管理・運用を担当する管理局が設置されています。

これから

学生自治会はステージ管理委員会の構成団体として、ステージ管理委員会の活動を行っています。ステージ管理委員会はステージを安全に管理・運用していくため、定例会を行い、ステージの現状確認や、ステージの運用・管理・再購入に関する話し合いを行っています。また、ステージを安全に運用するために管理局が中心となり、ステージの監視・保護およびステージの利用団体に対しての注意喚起などの管理業務を行っています。

ちょっとした豆知識

大学でパソコンからレポートなどを印刷していて、印刷上限を超えてしまった…！しかもまだ印刷したいものがある。そんな時はちゃんと申請をすれば、印刷上限を上げることができます。

